

主旨

- 地域医療構想調整会議では、これまでも地域に必要な医療機能や役割分担等の議論を継続的に行ってきた。
- 今般の新型コロナでは、患者の急増により、感染症指定医療機関や公立・公的等医療機関がほぼ満床となり、重症化患者を転院できないケースがあった。また重症化のリスクから、軽症患者の受入れを敬遠する医療機関もあり、病院の機能に応じた役割分担に関する課題が浮き彫りとなった。
- 以上を踏まえ、**感染症医療の視点から、地域における「医療連携」及び「役割分担」に関する課題**について、地域の関係者の共通認識を深める。

＜調整会議で出された主な意見＞

共通認識が図れた役割分担の考え方

- 一律の入院病床の振り分けではなく、病院の規模や機能に応じた役割分担と病床の振り分けが必要
- 行政を中心として医師会や病院を含めた、関係者間の緊密な情報共有が必要

各圏域から出された共通の課題

- 軽症患者が重症化した場合の受入れ先(転院)の確保【入口(上り)戦略】
- 重症患者の軽快後の受入れ先(転院)の確保【出口(下り)戦略】
- 各医療機関の患者受入状況の迅速な把握・情報共有手段の確立【連携方法】

＜医療機関・医師会・行政の役割及びその役割に応じた取組(意見まとめ)＞

	求められる役割	求められる役割に応じた取組
感染症指定医療機関	・中等症～重症患者の受入	・患者の増加により満床になった場合の対応 ・陰性後の退院フォロー
公立・公的等医療機関	・中等症患者までの受入	・重症化患者の受入れ先(転院)の確保、搬送手段 ・疑似症救急患者への対応
民間病院	・【地域中核病院】中等症患者までの受入 ・【中小規模の病院】軽症患者の受入	・疑似症救急患者への対応 ・【地域中核病院】中等症患者の受入れ先(転院)の確保、搬送手段 ・【中小規模の病院】軽症患者の受入れ先(転院)の確保、搬送手段
診療所(かかりつけ医)	・PCR検査・診断、トリアージ、入院先の紹介	・発熱患者への対応
医師会	・PCRセンターの運営や発熱外来の設置などの検査体制の拡充 ・医療機関や行政との情報共有(会議)	・診療所と地域中核病院又は基幹病院とのネットワークの構築 ・各医療機関の病床の状況や患者情報等の迅速な共有(Web会議の定期開催)
行政(保健所)	・【区部】行政区域での医療機関、地区医師会との情報共有(会議) ・【多摩部】圏域での医療機関、地区医師会との情報共有(会議)	・各医療機関の病床の状況や患者情報等の迅速な共有(Web会議の定期開催)
行政(都)	・調整本部による医療圏を越えた広域的受入調整	・各医療機関の感染患者数、空床数等の迅速な情報共有(各医療機関へBCポータルサイトの入力・更新徹底の呼びかけ等) ・広域的な調整